

農山漁村地域整備計画 事後評価調書

計画の概要	計画の名称	埼玉の木づかい促進路網計画
	計画策定主体	埼玉県
	対象市町村	秩父市、飯能市、本庄市、日高市、毛呂山町、越生町、嵐山町、小川町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、寄居町(17市町村)
	計画期間	平成22年～平成26年(5ヶ年)
	計画の目標	本県の森林は約12万2千haで、その半数が人工林であり、森林資源は充実しつつある。一方、本県における新設木造住宅着工戸数は全国第3位(平成21年)であり、全国有数の木材消費県であるが、新設木造住宅への県産木材の利用は低位にとどまっている。このため、木材の生産基盤を担う森林管理道の開設・改良を実施し、木材搬出コストの低減を図って外材との競争力を高め、県産木材の利用拡大を促進することを目標とする。
	定量的指標	県産木材供給量を71千m ³ (平成21年次)から95千m ³ (平成26年次)に増加させる。
	対象事業	森林整備事業
全体事業費	①対象事業701,193千円 ②関連事業480,216千円 合計1,181,410千円	

評価項目	達成状況
交付対象事業の進捗状況	森林整備の基幹となる森林管理道として、開設3路線、改良15路線、舗装9路線の整備を実施した。
事業効果の発現状況	森林管理道整備により、森林整備事業も増加するとともに、県産木材供給量も増加している。
成果目標の目標値の実現状況	事業の実施により、県産木材供給量が71千m ³ (平成21年次)から83千m ³ (平成26年次)に増加した。平成26年2月大雪の影響もあり、目標を達成できなかったが、平成26年次以降も供給量は増加しており、引き続き県産木材の利用拡大を促進していく。
今後の方針	本件の森林資源の更なる活用のため、木材の生産基盤を担う森林管理道の整備を今後も適切に実施していく。